

# 食物反応と乳児期症状を経て治療した小児アトピーの経過 (1 歳女兒)

症例 ID：001-01-HM | 記録日：不明

## 1. 診断・治療前経過

生後 1 か月頃に乳児湿疹が出ましたが、いったん大きく悪化せずに経過しました。7 か月頃、バナナを初めて食べた後に嘔吐し、全身に蕁麻疹が出たため医療機関を受診しました。

血液検査ではバナナ、カゼイン、卵白への反応があるとされ、抗アレルギー薬の内服と蕁麻疹用の外用薬が処方されました。母乳育児中であったため、母親も該当食品を控えるようにしました。制限すると皮膚は一時的にきれいになり、首のジュクジュクも落ち着きましたが、根本的な治療を考えて松本医院を受診されました。

## 2. ステロイド使用歴

| 項目    | 内容                                                  |
|-------|-----------------------------------------------------|
| 使用内容  | 来院前に、症状が良くならない場合はステロイド使用を検討する説明を受けましたが、実際の使用歴は不明です。 |
| 製品名   | 不明です。                                               |
| 強度    | 不明です。                                               |
| 使用期間  | 不明です。                                               |
| 中止時期  | 不明です。                                               |
| 来院前／後 | 来院前の処方・使用歴は不明です。来院後の使用は不明です。                        |

## 3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

| 時期       | 治療開始から | 経過                                                         |
|----------|--------|------------------------------------------------------------|
| 生後 1 か月頃 | 来院前    | 乳児湿疹が出ましたが、いったん大きな悪化はなく経過しました。                             |
| 7 か月頃    | 来院前    | バナナ摂取後に嘔吐し、体中に蕁麻疹が出ました。抗アレルギー薬などで対応し、食事制限を行いました。           |
| 松本医院受診   | 治療開始   | 見た目には落ち着いている時期でしたが、根本的な治療を考えて通院を開始しました。                    |
| 治療初期     | 初期反応   | 治療開始後、肌の状態が悪化し、人に見られたくないと感じるほどの時期がありました。強い状態は 1 週間ほど続きました。 |
| 1 か月頃    | 回復傾向   | 皮膚はかなりきれいな状態になりました。                                        |
| 3 か月頃    | 経過中    | 卵を含む食品で湿疹が出ることもありましたが、徐々に食べられるものが増えました。                    |
| 約 6 か月後  | 経過後半   | 卵や冷たい牛乳も摂れるようになり、額や口周りに一部症状が残る程度になりました。卒業が近いと説明されました。      |

## 4. ピーク時期

---

ピークは、治療開始後に皮膚症状が悪化し、人に見られたくないと感じるほどだった約1週間の時期です。終わりが見えず、家族の不安が強い時期でした。

## 5. 困りごと

---

- ・食物反応が疑われ、母乳育児中の母親も食事制限を行う必要がありました。
- ・治療初期の悪化時には、外出時に人目が気になり、家族の心理的負担が大きくなりました。
- ・上の子の外遊びなど日常生活との両立が負担になりました。

## 6. 経過のまとめ

---

治療開始後に一時的な悪化がありましたが、1か月頃には皮膚はかなりきれいな状態になりました。3か月頃までは卵を含む食品で湿疹が出ることもありましたが、その後は卵や冷たい牛乳も摂れるようになりました。

約6か月後には額の湿疹や口周りの赤みが一部残る程度となり、卒業が近いと説明されるところまで経過しました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。  
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。